

荻窪病院だより

2014' vol.1



クイズ：ニコはどこでしょう？

荻窪病院の理念

患者さんへ、安心して信頼される医療を提供します。

職員へ、やり甲斐のある仕事と豊かな生活の場を提供します。

2014年度を迎えて

皆さま 良いお年をお迎えのことと存じます。

荻窪病院は、中島飛行機付属病院を前身として、長年地域の皆さまに信頼される病院を目指してまいりました。今日においても、病院理念として患者さまへ安心して信頼される医療を提供することを掲げております。

また当院は杉並区における唯一の災害拠点病院であり、いつ起こってもおかしくないと言われている都市直下型の地震災害に対する構えについても、しっかりと進めております。

2013年7月に、別館をオープン致しました。これにより救急外来（ER）の拡大など、急性期中核病院として機能強化を行いました。

また、別館3階にLDR3室を備えた産科病棟を新たにオープン致しました。現在は、本館の改修工事を開始しています。今後は、医師や看護師のみならず、様々な職種からなる医療チームを構築し、質の高い医療を行うことを目指しています。

本年も、この地の医療貢献を目標に邁進していく所存ですので、皆さまのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

病院長 村井信二

村井信二（むらいしんじ）

病院長・外科部長

ふたご座・O型。趣味はヨット・スキー。

小学生の頃から医師になりたいと思っていたが、成績が振るわず先生から怒られたことも。夢を目指して突き進み、気付いたら外科医になっていた。

退職後の夢はヨットでの日本一周。

「だって、退職後の世界一周って、さすがに体力がもたないでしょ」（本人談）



病院7Fより富士山を望む

荻窪病院だより 1月号 もくじ

院長あいさつ	3
【特集】地域とともに 災害訓練・ブラックジャックセミナー みんなの健康講座・クリスマスコンサート・職場体験学習	4
東京都院内感染対策強化事業モデル病院訪問見学	7
外来担当医表（1月）	8

フットケア・下肢救済センターを開設しました

このたび当院では、重症虚血肢や糖尿病足病変の患者様を対象に、整形外科、循環器内科、皮膚科など、複数科の専門医師が協力して診療に当たり、局所処置のみならず、基礎疾患を含めて早期より治療を行うことにより切断を予防する、すでに壊疽に陥ってしまった重症の患者様においては、極力切断範囲を小さくすることを目指して、「フットケア・下肢救済センター」を開設しました。



【診察日】

第2・4火曜日午後（完全予約制）

【診察申し込み】

地域連携室 03-3399-0257 (TEL)
03-3399-0258 (FAX)

特集

地域とともに～様々な取り組み



写真 上・右
本館から別館救急入口へ
模擬患者搬送風景。
首には、模擬患者の設定
を記したカードを下げて
います。



写真 上
炊き出しの豚汁とアルファ米。

写真 下
模擬患者の職員を担当医
が迎え入れ、トリアージ
の分類をします。



昨年12月14日(土)、夜間を想定しての災害訓練を行いました。夜勤の看護師から院内への連絡、職員の参集に加え、トリアージ訓練や炊き出しなども合わせて実施しました。

当日は院内の電話が不通という設定のため、使い慣れていないトランシーバに恐る恐る触れる職員も。

トリアージ(※)は昨年7月に竣工した別館1Fの救急外来を使つての訓練となりました。

当院は杉並区唯一の災害拠点病院です。有事の際には職員がまず落ち着いて行動できるよう、このような訓練を今後も重ねていきたいと考えています。

※ トリアージ=病気や怪我の緊急度や重症度を判定して治療や搬送の優先順位を決めること。



写真右
災害用携帯電話を利用し、職員が参集。
災害対策本部が設置されます。

災害訓練

ブラックジャックセミナー

11月10日(日)、中学生を対象にした外科医体験「ブラックジャックセミナー」を開催しました。当日は定員30名がほぼいっぱいになるほどの申込みがあり、多くの中学生がおよそ3時間、外科医体験を楽しみました。

外科医体験と一口に言っても、内視鏡を操作してみたり、超音波メスを使ってみたりと様々。

外科の医師の指導の下、皆さん真剣な表情で一つひとつの体験に取り組んでいました。



写真 上・右
超音波メスを用いて豚肉の赤身と脂身を分けていきます。



写真 左
「外科結び」と呼ばれる手術の際用いられる結び方。
意外と難しいんです、これ。



みんなの健康講座

11月30日(土)、杉並公会堂にて当院地域連携室主催の「みんなの健康講座」を開催しました。

今まで様々な会場で開催してきた健康講座も、杉並公会堂は初めての開催です。朝から夕方まで、各診療科の医師が医療に関する話題や災害拠点病院としての取り組みなどについて講演しました。300名を超えるお客様に足を運んでいただき、職員もとても嬉しく1日を過ごしました。次回開催の折にはホームページ・区報などでご案内いたしますのでぜひお越しください。

写真 下
白内障の手術を動画を用いて説明する眼科上田医師。



写真 上
ホール脇に設置された栄養相談コーナー。



クリスマスコンサート



写真 上
スティーブ・サクスの熱演
写真 右
ミュージック・ボランティア・ソサイエティの皆さん

写真 右
最後には職員が加わって
楽しい場面も



12月21日(土)、毎年恒例になっているクリスマスのコンサートを開催しました。
今年はプロミュージシャンのスティーブ・サクスさん、大谷桃さん、中央大学杉並高校のミュージック・ボランティア・ソサイエティの皆さんをお迎えしての開催となりました。150名を超えるお客様にお越しいただきました。



職場体験学習

11月の最後の週、井草中学校2年生の生徒さんが職場体験学習にやってきました。2013年度、当院で受入れを行った中学校は計5校。医師や看護師、検査技師など、様々な職種の体験を通して何か感じてもらえたら幸いです。

写真 下
看護師の仕事に寄り添って

写真 右
栄養科厨房で盛り付けを手伝う



荻窪病院は、2014年も様々な形で地域の方々に寄り添いながら歩み続けていきたいと考えています。
2014年が皆さまにとって良い年となるよう、職員一同、心から願っています。

東京都院内感染対策強化事業 モデル病院訪問見学の受入を行いました



写真 上・右下
ラウンドに先立ち、講演を行う藤井医師



写真 右・下
病棟ラウンドの様子



当院には、ICD(※1) 心臓血管外科の藤井奨医師や、ICN(※2) 飯干恵子看護師の下、院内の感染を防ぐために、薬剤師や臨床検査技師も加わった感染対策チーム(ICT)が活発に活動しています。
11月27日、当院を東京都院内感染対策強化事業のモデル病院として東京都福祉保健局の職員の方、近隣の医療機関から看護師さんを迎えて、当院で行っている感染対策の講演と院内見学が行われました。
講義の後の院内ラウンドでは、ICN 飯干恵子看護師が、病棟のナースステーションや汚物室などをまわり、当院で工夫していることを話します。質疑応答も含め、あっという間に日暮れとなりました。

感染管理は病院にとって、とても大切なことです。その取り組みを、院の内外問わず広めていきたい、学びたい、そんな思いが集った1日でした。



※1 ICD=インフェクションコントロールドクター：感染症や感染制御を取り扱う医師
※2 ICN=インフェクションコントロールナース：感染管理認定看護師

今日の表紙



「こんな場所あったっけ？」と思うショットを探しました。正面玄関は皆さん見慣れていると思い、グルグルと歩き回ること10分。
白い雲と青い空が何とも言えないコントラストを醸し出した写真を少し加工しました。

ここは病院の夜間通用口を出て西側から建物を見上げたところですよ！

オススメの1冊

「ロスジェネの逆襲」池井戸潤

昨年話題となった「倍返し」こと半沢直樹の続編です。子会社に向向になった半沢直樹が絶対無理だと思われた企業買収を逆転、成功に導きます。
上司として部下と接する主人公の信念を貫こうとする姿勢に自分も襟を正す気持ちになります。



新しい年にぴったりの爽やかな読後感が残る1冊ですよ！

皆さんこんにちは 栄養管理科です!



各病棟に管理栄養士

病院に入院している時の楽しみと言えば・・・何を隠そう、3度の食事!と思われる方はきっと多いと思います。

当院の栄養管理科では、5名の管理栄養士が日々患者さんのために美味しいお食事を作るために頑張っています。

「当院では各病棟に管理栄養士がついて、患者さんがお食事を美味しく食べられているかを見ているんです!」と話すのは西道子科長。

配膳、下膳の際には病棟の管理栄養士が注意深く見守り、患者さんの状態に合わせたお食事を提供できるよう、気を配っています。

美味しい食事は目から

特に気を付けているのは、料理の彩りや盛り付けだそうです。「目で見てきれいだから、食欲が湧くんですよ」という西管理栄養士は、食事が献立通り作られているかどうかチェックをする”検食”の際に、盛り付けについて指示を細かく出すことも。

また、季節感がある食材を使った四季折々の献立や、食事制限のない患者さんが召しあがられるような、ちょっとだけ豪華な特別食など、様々な工夫をしています。

食事時、病棟に行くと、患者さんが美味しく食事できているかどうか気にしながら病棟をまわる管理栄養士の姿を目にします。「美味しく食べて欲しい」という気持ちで、今日も栄養管理科はがんばっています。



写真 右
まいたけご飯。季節感たっぷり。

写真 右下
ディアブルチキン。
マスタードとデミグラスソースが
美味しく人気のメニューです。

写真 下
鯛のソテー。
バルサミコ酢でいただきます。



医療法人財団荻窪病院広報紙

2014年1月25日発行

発行責任者 村井信二

編集/企画 総務課

〒167-0035

杉並区今川3-1-24

医療法人財団荻窪病院

03-3399-1101 (代表)

クオリティインディケーターを公開しています



荻窪病院では、医療の指標を数字で表した「クオリティインディケーター」をホームページで公開しています。当院では2009年より患者数や待ち時間、手術数など、様々なデータを指標として医療の質の向上に取り組んできました。

このデータをご覧いただくには、当院ホームページのトップページから「クオリティインディケーター」のバナーをクリックしてください。

多くの方にご覧いただければ幸いです。

